

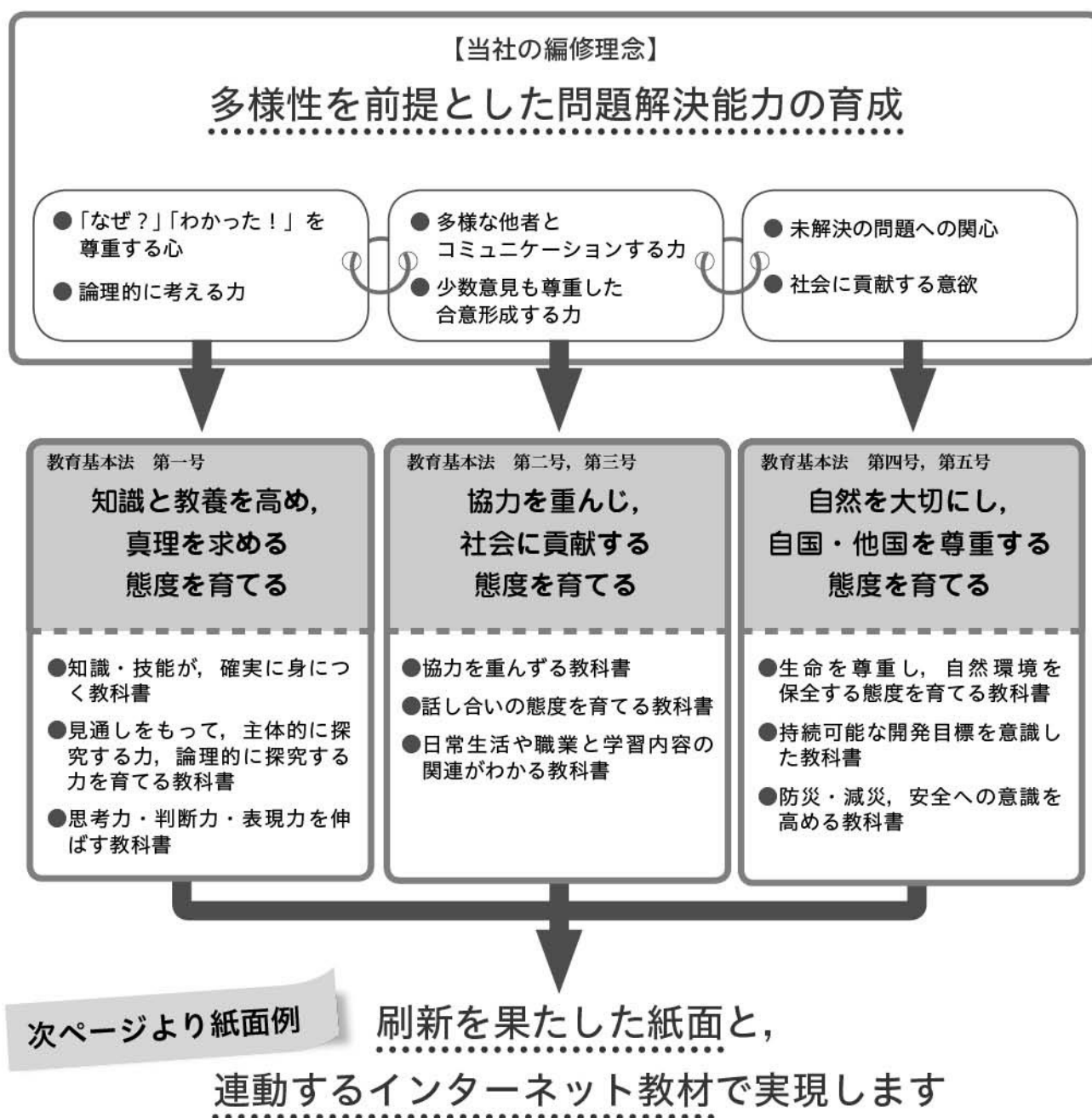
編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-69	中学校	理科	理科	1
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号		教科書名	
11 学図	理科 703		中学校 科学1	

1 編修の基本方針

当社は、これからの社会の中で、子供たち一人ひとりが持続可能な社会の担い手として主体的に生きていくためには、個々の考えを尊重して問題解決を進め、共に高め合う力の育成が重要だと考えています。教育基本法に示された目標を大前提として、自社の理念をふまえて理科の資質・能力を伸ばせるよう、本教科書では内容の刷新を行いました。



● 知識と教養を高める

科学的な探究を行うために前提となる知識が確実に身につくよう、理解が深まるよう配慮しています。具体的には、理解を深めるためのページを“わかりやすく”簡潔にまとめ、探究のページの体裁と明確に独立させています。これにより、生徒の自学自習での振り返りを行いやすくなっています。

また、QRコード先のインターネット教材として、基礎問題やコラムなどを充実させています。

第一号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

大問2

下の図のような装置で水とエタノールの混合物を加熱し、出てくる蒸気の温度を測定しました。グラフは、そのときの温度変化です。

- ① 混合物に、沸とう石を入れて加熱する理由は何か。
- ② 得られた液体の中に、エタノールが多く含まれることを確かめるにはどのような方法がありますか。

答えのA、B

QRコード先の基礎問題の例（スマートフォンやタブレットPCがなくても、公共PCから接続できるよう配慮しています。）

2 無脊椎動物

無脊椎動物は、脊椎動物よりもはるかに種類が多く、からだのつくりもさまざまである。たとえば、小学校で学んだ昆虫や、魚屋で見られるイカや貝などは無脊椎動物である。これらの動物も、脊椎動物の分類と同じように、からだのつくりをもとに分類されている。

● 節足動物

昆虫のからだのつくりを観察すると、脚や足がかたい殻におおわれていることがわかる。昆虫のからだの外側をおおう殻を外骨格といい、外骨格には節がある。このような、外骨格をもち、からだに節のある動物をまとめて節足動物という(図10)。

節足動物の分類には昆虫類や甲殻類がある。トンボ、バッタ、カブトムシなどは、頭部

この節足の様子 無脊椎動物にはどのような分類があるか。

見方 → 動物には、種類によって「似ているところ・ちがうところ」がある

考え方 → 比較して分類する

● からだを支えるはたらきのある、かたい殻を骨格という。節足動物のからだの中には骨格がない。外骨格に対して、脊椎動物のように、骨格がからだの中にある場合、これを内骨格という。

外骨格 内骨格

知識や理解を高めるページ (p.54)

かあふれ出るはずだ」と彼は考えました。ところが、あふれ出た水の量は王冠の方が多かったため、職人が金に混ぜたものをしたことがわかったのです。

銀の密度(10.50g/cm³)は、金の密度(19.32g/cm³)のおよそ半分ですから、銀が混ざっている割合が多いほど、王冠の体積は、同じ質量の純金の体積よりも大きくなることになります。

王冠と同じ質量の金のかたまりをはかる

それぞれを水を満たした容器に入れると、

溢れ出る水

QRコード先のコラムの例

● 真理を求める態度を育てる

日常生活の中から問題を発見し、その問題を科学的に探究するための「課題」に落とし込み、見通しを持って探究を進める力を育てます。そのために、巻頭には探究の進め方を説明し、各単元のはじめや探究のはじめに、生徒が解決したくなるような導入場面を設けています。

日常の場面から問題を発見するページ (p.66)

問題発見

身のまわりのものに関わる現象から、疑問を見つけよう。

気づき

ものも分解できるんだね。どんな順番で分解できるんだろう。

ペットボトルは、壊せるゴミに分別されていないのかな？

どうやって理科を学ぶの？

探究の進め方

探究とは、**気づき**と**振り返り**の連続だ！

2〜7の各段階で、何が気づくことや、振り返って考えることがあるはずですが、いつでも「1. 気づき」や「8. 振り返り」を行き来しながら、探究を進めていきます。

- 1 気づき 特に1年生で気をつける
 - 不思議な現象を観察し、問題を発見しましょう。
 - どの過程にあっても、気づきがあれば考え直して改善することが大切です。
- 2 課題設定
 - 発見した問題を、観察・実験で検証できる「課題」の形にします。検証するのにどのような準備が必要か、資料などを調べましょう。
 - 水は何で温かくなるのか。熱湯が沸くところの温度は場所によって違うか(調べる場所が多すぎる)。
 - 熱は「伝わる」と思っているから、どのくらいまで伝わるのか。
- 3 仮説
 - 問題を明らかにするために、課題に解決する原因の仮説をもち、課題に対する結果を予想します。「どこを調べるかは、何が考えようか」「何を測ると、それともなっていくか」「結果はどうなるか」など、具体的に考えていくことがコツです。
 - 仮説を立てているとき、新たな気づきがあるかもしれません。
- 4 検証計画
 - どのようにしたら仮説が確かめられるかを考えます。「何を調べるかは、何が考えようか」「何を測ると、それともなっていくか」「何を測ると、それともなっていくか」など、具体的に考えていきます。
 - 検証計画を立てるとき、仮説を修正することもありますが特に2年生で気をつける

探究レポートを書くときは、まとめて2〜7をまとめます。

探究の進め方を説明するページ (p.6)

探究1 光の反射のしかた

タブレットPCを動かしているときに、天井の電灯が画面に反射して気になることがあるよ。天井を見ると電灯はたくさんあるけど、画面にうつった電灯はどれなんだろう？

この節目の課題 光源からの光が物体に反射するとき、光の進み方にはどのような決まりがあるか。

見方 → 光はまっすぐに進み、鏡で反射する

考え方 → 光の進み方と光線のモデルを関連づける

だよね、こうやって解くのかな？

光源からの光が物体に反射するとき、光の進み方にはどのような決まりがあるか。光線のモデルで考える。

課題

各単元の探究のページ (p.135)

● 協力を重んじる

科学的に探究する過程には、多様な個性を持った人たちの話し合いが含まれること、その重要性を意識しやすい構成にしました。探究の仮説設定や計画立案の場面は、必ず生徒の話し合いの場を提示しています。また、探究によっては、別の実験をしたグループとの話し合いで考察を導く流れにしました。

第二号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自立の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

第三号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

主体的に
自ら動こう！
行動力より **行動量！**
「主体的に学ぶ」とは、まとめること
・身のまわりのできごとを観察し
・見直しをもつ
・ねばり強く取り組み
・自分のやってきたことを振り返り、改善していく
・新しいことに挑戦する
などです。
「ただ動いてくつろぎ」だけではちがいます。じっくり静かに取り組んでも、「主体的」は実現しやすくなります。

対話的に
理科は **話し合い！**
どうやったら対話的になるの？
● 相手に質問するときの聞き方をくふうしましょう。
次のような聞き方をされると、もっと話しやすくなります。
○ ～という？
○ 具体的には？、例えば？
○ まとめる？
○ もう少しくわしく言う？
○ 知には？
○ 数値でいう？
○ 理由は？
など

● 相手の学習のほじめにある「Can-Do List (たとえば p.32 など)」を参照して、学習の目的意識をもちましょう。
● 身のまわりのことがらから課題を探し出して、探究活動を進めていきましょう。
● 探究活動のときに「探究の Can-Do List」を参照して、探究の目的意識をもちましょう。
● 学んだ内容がどこかに関係していないか、使えないか探してみよう。
● 探究活動がうまくいかなくても、うまくいく方法をねばり強く探してみよう。

話し合いの方法を説明するページ (p.12)

結果 ペトリ皿④でできた結晶を観察する。
ペトリ皿③の結晶
ペトリ皿④の結晶
比較
0.5mm

考察 火成岩の組織のちがいは、なぜできると考えられるか。
Aの観察をした人は、Bの観察をした人に、自分たちの結果と考え方をしっかり説明できるようにしておきましょう。
Bの人も同様です。
Aの観察をした人と、Bの観察をした人と、安山岩や花こう岩のでき方や特徴について話し合ってみよう。

複数の実験方法から考察を導く活動を示したページ (p.205)

● 社会に貢献する態度を育てる

私たちの生活が、科学の知識と考え方によって成り立っていること、また、さまざまな職業につく人々の協力によって成り立っていることを意識しやすい構成にしました。

安全のために活断層を調査する人を取り上げたページ (p.243)



なぜ理科を学ぶの？
「試験」のためじゃない。
知って、使って、役立てる
ために学んだ！

理科を勉強して、将来役に立つのですか？
仕事に役立てる
現代の社会では、必ず生活のどこかで理科の知識や考え方を使っています。たとえば、さまざまな仕事で理科は役立っています。

ITエンジニア
プログラマー・システムエンジニアなど
プログラムを設計するとき、目的に合った効率のよい方法、うまくいかないときの改善方法などを常に考えます。それらの方法（探究の方法）を学ぶのも理科です。

でも、日常生活では関係ないですか？
正しい知識
日常生活では、正確な理科の知識にもとづいていない情報、まぎらわしい情報が溢れています。それらにまどわされないためにも、理科は役

学習内容と日常生活との関連を示すページ (巻頭④)

理科のトリセツ

トレーニング
体重よりもはるかに重いバーベルを持ち上げる重量挙げの世界記録はなんと400kg以上。単に力があれば持ち上げられるものではありません。バーベルを床から頭上を持ち上げるまでの足が床におよぶ力を計測すると、グラフのように上下にふれて複雑です。各段階で体をうまくコントロールできるようにトレーニングを積み重ねる必要があります。細やかな技術や科学が求められる競技なのです。

映像技術
今まで追い切れなかった選手の動きを記録するため、カメラをあやつる撮影技術もくふうされています。下の写真の撮影装置は、天井の四方からクモの網のようにワイヤーを張ってカメラを上空に支え、ワイヤーをコンピュータで自由にコントロールすることでカメラを動かします。カメラは、広い競技場の上空を自由自在に素早く移動し、臨場感ある映像を撮影することができます。

義肢の開発
お尻から乗ったまま走り出すスポーツ
障害をもつとしない人は、

学習内容と職業との関連を示すページ (p.1)

● 自然を大切にする

身近な地域の生物や地層の多様性に興味をもてるような内容を取り上げ、上位学年で学習意欲をさらに高められるようにしています。



地域の自然を調べる活動を示したページ (p.61)

第四号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

第五号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。



地域の自然を調べる活動を示したページ (p.255)

● 自国・他国を尊重する態度を育てる

日本の伝統や文化を科学的な視点で取り上げる教材、国際的な協調を意識する教材を取り上げています。



日本の伝統的な鍛冶を取り上げたページ (p.68)



国際的に協調しているSDGsを取り上げたページ (巻頭⑤)

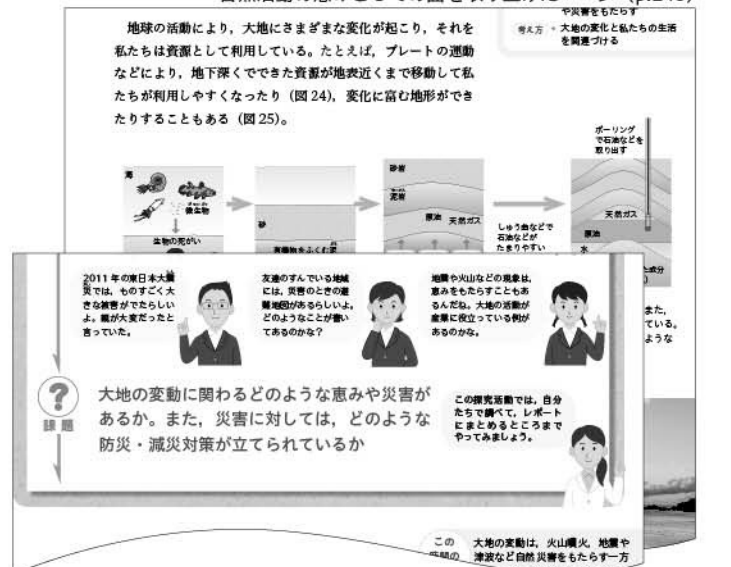
● 防災・減災、安全に留意する態度を育てる

自然災害の例を取り上げ、身近な地域でどのような防災・減災対策が立てられているか調べる活動を設けています。また、自然現象は、災害だけでなく、私たちにとって恵みとなることもバランスよく取り上げています。



目のまわりの危険性を取り上げたページ (p.105)

自然活動の恵みとしての面を取り上げたページ (p.248)



防災・減災対策を調べる活動を示したページ (p.251)

2 教育基本法との対照表

教育基本法 第2条	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第一号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ●学習内容をより深いものにするための知識や技能などをわかりやすく掲載するとともに、知識を活用する場面「学びをいかす」を設けることにより、意欲を高め、学習内容が定着するよう配慮した。 	p.78, 87, 108, 138
	<ul style="list-style-type: none"> ●観察する生物との関わりの中で、命について学び、豊かな情操と道徳心を養えるよう配慮した。 	p.30, 49
	<ul style="list-style-type: none"> ●話し合いの際に、相手を気遣うための項目などを示し、豊かな情操と道徳心を養えるよう配慮した。 	p.12
	<ul style="list-style-type: none"> ●屋外で活動する様子を提示することにより、積極的な活動で健やかな身体を養えるよう配慮した。 	p.23, 25
第二号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自立の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ●探究活動、「やってみよう」、単元末の「理科マスター」などの活動場面で、個人の創造性を育むとともに、お互いの交流を通して個々の価値を認め、更なる意欲につなげられるよう配慮した。 	p.70, 107, 124-125, 184-185, 254-255
	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な生活や仕事などに関連した教材を示し、学習内容とのつながりを持たせ、更なる興味を呼び起こし、学びを広げられるよう配慮した。 	p.61-63, 71, 125-127, 185-187
	<ul style="list-style-type: none"> ●学習内容が生活や職業に生かされていることを示し、理科の学習の有用性を実感できるよう配慮した。 	巻頭④-p.1, p.105, 135, 231
	<ul style="list-style-type: none"> ●個人で調べた内容を、他者と共有してお互いに意見することで、個々の考えを認め、かつ深め、更なる意欲につなげられるよう配慮した。 	p.60, 124, 205, 233
第三号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ●4人（男子生徒2名、女子生徒2名）のキャラクターが、協力して探究する様子を示すことにより、自他を敬愛し協力を重んずる態度の育成に配慮した。また、男子生徒・女子生徒、男性教師・女性教師はバランスよく配置した。 	巻頭④-⑤など、教科書全般
	<ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな職業につく人々が協力していることを示し、公共の精神や社会参加を意識できるよう配慮した。 	巻頭⑥-p.1
	<ul style="list-style-type: none"> ●下級生のために自分の経験を伝える場面を設定し、他者のために活動する態度を養うことができるよう配慮した。 	p.60, p.184「1日先生体験」
第四号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ●観察する生物への配慮を目標に取り上げることにより、生命尊重、環境保全の心を育てるよう配慮した。 	p.22「どのように学びに向かうか」
	<ul style="list-style-type: none"> ●自ら調べる活動を通して、持続可能な開発目標に貢献できる態度を育成できるよう配慮した。 	巻頭⑤
	<ul style="list-style-type: none"> ●自然現象に関わる恵みや災害を取り上げることにより、自然とともに生きることが意識できるよう配慮した。 	p.248-251
第五号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の伝統的な工業や文化を示すことにより、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮した。 	p.68, 71 図4, p.156
	<ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな地域の写真を扱うことにより、自他共に尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮した。 	巻頭①-②, p.32, 106, 194-195
	<ul style="list-style-type: none"> ●国外の教材を取り上げ、他国を尊重する態度を養うよう配慮した。 	p.134, 192

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時間表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-69	中学校	理科	理科	1
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号		教科書名	
11 学図	理科 703		中学校 科学1	

1 編修上特に意を用いた点や特色

先が見えない 未来を生きる 子どもたちへの贈り物

1.

仮説設定・計画立案・ふり返り
を実現できる

「探究活動」へ

～新学習指導要領の理念が無理なく実現できる教科書～

2.

「深い学び」

を実現するための

理科へ

3.

「見方・考え方」

「資質・能力」

が見える理科へ

次ページより紙面例

1. 計画立案のため、考察するため、妥当性を振り返るための「観察・実験」

理科の問題解決のしかたがわかる

気づき
これまでに学んできた知識、または日常の出来事から、疑問を発見する場面です。

課題
発見した疑問から、実験できるかたちの課題に落とし込みます。

仮説
課題に対してどのような仮説が立てられるか話し合う場面です。

観察・実験の計画
仮説をもとに、どのような実験方法で課題を確かめるか計画を立てる場面です。

探究の Can-Do List
該当の観察・実験で、やらなければならないことを確認します。

方法
まず準備物を確認します。その次に方法をわかりやすく説明します。実物写真で、手元の操作と比較しやすくしてあります。

「結果」の見方・考え方
どのような点に注目して結果をまとめればよいか、見方のポイントを示してあります。

「考察」の見方・考え方
どのような点に注目して、結果をもとに考察するのか、考え方のポイントを示してあります。

結果
実験結果の例を示してあります。該当時間を欠席したときの補充や、試験前の復習などに利用できます。

考察
結果をもとにどのように考察するのか、例を示してあります。

ふり返り
実験は無理がなく適切か、ふり返って考え直すときの話し合いの例を示しています。次の時間につながる疑問や、気づきなども示しています。

(p.117)

探究6 水とエタノールの混合物を分ける

気づき
ここまではエタノールを抽出した実験がすすんでいます。この実験から、水とエタノールの混合物を分けるにはどうしたらよいでしょうか。

課題
水とエタノールの混合物から、エタノールを取り出すにはどうしたらよいでしょうか。

仮説
エタノールと水は、混ざり合っています。エタノールと水の混合物を分けるには、エタノールと水の性質の違いを利用するのでしょうか。

計画
エタノールと水は混ざり合っていますが、エタノールは水よりも揮発性が高いです。エタノールと水の混合物を分けるには、エタノールを蒸発させる方法がよいかもしれません。

(p.118)

観察

探究の Can-Do List
①エタノールと水の混合物を用意して、気味を見る。 ②試験管にたまった液体の気味を確認する。
③試験管を加熱して気味を確認する。 ④エタノールと水の混合物を分ける方法を考える。
⑤実験結果をもとに考察を行う。

方法
1. 混合物を加熱する
メスシリンダーで水 2ml、エタノール 1ml を合わせて混合物をつくり、試験管に入れる。
2. 加熱する
試験管の口を傾け、水浴槽に入れて加熱する。

結果

試験管	ア	イ	ウ
気味	エタノールの気味	エタノールの気味が少し	エタノールの気味がほとんどない
気味の変化	エタノールの気味が減る	エタノールの気味が減る	エタノールの気味が減る

考察
試験管アにはエタノールを多く含む液体がたまったことがわかる。このことから、蒸発の早い物質と蒸発の遅い物質の混合物を加熱すると、まず蒸発の早い物質が多く取り出される。

(p.120)

結果・考察

試験管	ア	イ	ウ
気味	エタノールの気味	エタノールの気味が少し	エタノールの気味がほとんどない
気味の変化	エタノールの気味が減る	エタノールの気味が減る	エタノールの気味が減る

考察
試験管アにはエタノールを多く含む液体がたまったことがわかる。このことから、蒸発の早い物質と蒸発の遅い物質の混合物を加熱すると、まず蒸発の早い物質が多く取り出される。

ふり返り
エタノールと水は混ざり合っていますが、エタノールは水よりも揮発性が高いです。エタノールと水の混合物を分けるには、エタノールを蒸発させる方法がよいかもしれません。

先生が慣れているこれまでの実験を変えずに、新指導要領に沿った文脈に刷新

ただ実験結果を出すだけ、ただ観察するだけの活動はありません。「しっかり考察できる」ように刷新しました。一方で難しくなりすぎないように、探究のヒントや考え方を「吹き出し」として随所に示しています。

また今回は、従来あいまいであった探究の「考察」、本文での「まとめ」をはっきり区別しています。探究ページの「考察」は、その探究の結果から導き出せる範囲のみ表現しています。

従来

新

探究1 光の反射のしかた

気づき
光の反射のしかたを調べたい。

課題
光の反射のしかたを調べたい。

仮説
光の反射のしかたは、入射角と反射角に依存している。

計画
光の反射のしかたを調べるために、光の反射のしかたを調べる実験を行う。

従来

新

探究5 地震のゆれ

気づき
地震のゆれのしくみを調べたい。

課題
地震のゆれのしくみを調べたい。

仮説
地震のゆれは、地盤のゆれによって起こる。

計画
地震のゆれのしくみを調べるために、地震のゆれのしくみを調べる実験を行う。

▼ 学年ごとの探究の課題を“しっかり”実現できる

1年生の各単元の最初には、「日常の出来事から、不思議を見つける場面」の例を示した特設ページを設けてあります。それぞれの場面の解説は、巻末 p.260 - 261 に示してあります。



(p.66)

< 1年生 >
各単元のはじめに課題を発見する活動「問題発見」を設けています。

< 2年生 >
仮説設定・計画立案に力を入れる探究活動「しっかり仮説」「しっかり計画」を設けています。

< 3年生 >
探究過程全体に無理がないかを検討する「ふり返りポイント」を設けています。

ほかにも特別力を入れたい観察・実験は、力を入れたいテーマとともに示しています。「しっかり考察」「しっかり計画」などタイトルがついています。

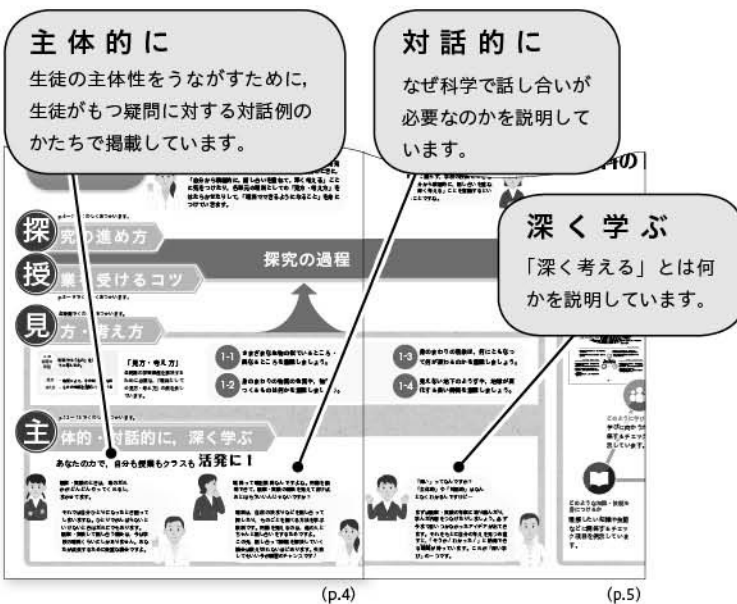


(p.203)

余裕を持った年間指導計画を想定しており、多くの実験で2時間かけられるように工夫してあります。

2. 「理科の学び方」「主体的・対話的で深い学び」を明示

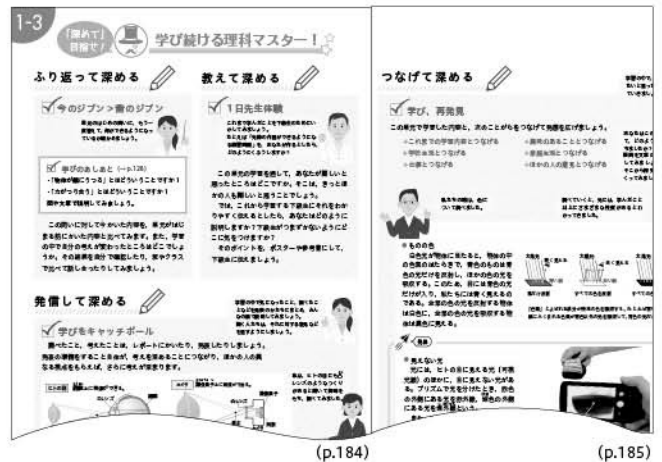
▼ どのように学ぶかがわかる



(p.4)

(p.5)

各単元末に、深い学びを実現する活動例を設けました。単元学習の前後で自分の文章を比較し自己有用感を高める活動、発表により各人の考えを深める活動などを紹介しています。

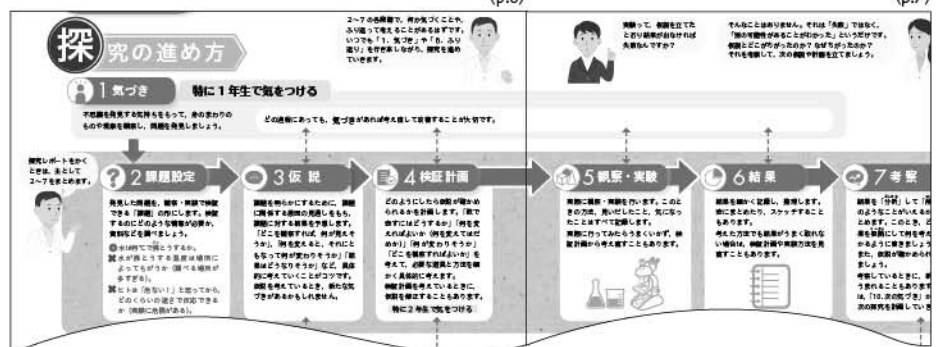


(p.184)

(p.185)

▼ 探究の進め方、話す・書くコツなどがわかる

探究を進めて、次の疑問が生じるまでの過程、探究過程で生じる他者との話し合いのしかたやレポートの書き方のコツなどを示してあります。教科書に書ききれない文例やレポート例などは、QRコードコンテンツで提供します。



(p.6)

(p.7)

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	配当時数
	第1分野	内容の取扱い		
第1分野	第1分野			
1-2 身のまわりの物質				小計 22
問題発見	(2)		p.66 ~ 67	1
第1章 物質の分類	(2) (ア) ㊦	(2) ア	p.68 ~ 83	6
第2章 粒子のモデルと物質の性質	(2) (ア) ㊧, (2) (イ) ㊦	(2) イ, ウ	p.84 ~ 105	8
第3章 粒子のモデルと状態変化	(2) (ウ) ㊦ ㊧	(2) エ	p.106 ~ 123	6
単元末の活動	(2)		p.124 ~ 127	1
1-3 身のまわりの現象				小計 20
問題発見	(1)		p.130 ~ 131	1
第1章 光の性質	(1) (ア) ㊦ ㊧	(1) ア, イ	p.132 ~ 155	8
第2章 音の性質	(1) (ア) ㊨	(1) ウ	p.156 ~ 165	3
第3章 力のはたらき	(1) (イ) ㊦	(1) エ	p.166 ~ 183	7
単元末の活動	(1)		p.184 ~ 187	1
第2分野	第2分野			
1-1 動植物の分類				小計 14
問題発見	(1)		p.20 ~ 21	1
第1章 身近な生物の観察	(1) (ア) ㊦ ㊧	(1) ア	p.22 ~ 31	2
第2章 植物の分類	(1) (イ) ㊦	(1) イ	p.32 ~ 47	5
第3章 動物の分類	(1) (イ) ㊧	(1) ウ	p.48 ~ 59	5
単元末の活動	(1)		p.60 ~ 63	1
1-4 大地の活動				小計 21
問題発見	(2)		p.190 ~ 191	1
第1章 火山	(2) (ア) ㊦, (2) (ウ) ㊦ ㊧	(2) ア, ウ	p.192 ~ 209	5
第2章 地層	(2) (ア) ㊦, (2) (イ) ㊦	(2) ア, イ	p.210 ~ 229	7
第3章 地震	(2) (ウ) ㊧, (2) (エ) ㊦	(2) エ, オ	p.230 ~ 253	7
単元末の活動	(2)		p.254 ~ 257	1
探究活動のための予備時間	第1分野 (1) (2) 第2分野 (1) (2)			28
			合計	105

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-69	中学校	理科	理科	1
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号		教科書名	
11 学図	理科 703		中学校 科学 1	

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
41	和名と学名	1	2分野 (1) イ㉞ 「植物の体の共通点と相違点」との関連	0.25
47	日光を利用して生きる植物以外の生物～ 海藻～	1	2分野 (1) イ㉞ 「植物の体の共通点と相違点」との関連	0.75
59	植物と動物のちがい	1	2分野 (1) イ㉞ 「植物の体の共通点と相違点」 2分野 (1) イ㉟ 「動物の体の共通点と相違点」 との関連	0.25
61	学び、再発見	1	2分野 (1) イ㉞ 「植物の体の共通点と相違点」 2分野 (1) イ㉟ 「動物の体の共通点と相違点」 との関連	0.5
123	誤差と有効数字	1	1分野 (2) 「身の回りの物質」との関連	0.25
163	音色	1	1分野 (1) (ア)㉞ 「音と性質」との関連	0.25
185	学び、再発見	1	1分野 (1) (ア)㉞㉟ 「光の反射・屈折」「凸レンズの働き」 との関連	0.75
252	大地の変動をプレートの動きで説明する ～プレートテクトニクス～	1	2分野 (2) (エ)㉞ 「地震の伝わり方と地球内部の働き」 との関連	1
253	変成岩の例	1	2分野 (ア)㉞ 「身近な地形や地層、岩石の観察」 との関連	0.25
255	学び、再発見	1	2分野 (2) 「大地の成り立ちと変化」との関連	0.75
			合計	5

- 1… 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
2… 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容